

福岡市にもすぐ緊急支援強化を申し入れ (4月17日)



熊本地震の被災者支援で、倉元達朗と日本共産党は、独自の救援募金や行政の支援強化の申し入れなどに尽力しています。

「成長」「好循環」と市長は言うが…

アベノミクス・高島市政で もうかったのは大企業だけ 市民は貧しくなった…



倉元市議に聞く

福岡市2016年 予算議会の論戦をふりかえる

福岡市の大企業は…

●資本金 10 億円以上の企業の納めた法人市民税

129 億円→198 億円

2009 年度と 2014 年度の法人税割額

1.5倍

福岡市民・労働者は…

●年間平均給与収入額

454 万円→442.8 万円

2009 年度と 2014 年度の個人市民税 (給与所得者)にかかわる 1 人当たり

●市民 1 人あたりの家計の可処分所得

231 万円→224 万円

2009 年度と 2012 年度

●市内の非正規労働者数

22 万 9100 人→27 万 2400 人

2007 年と 2012 年

●市内の正社員数

40 万 1900 人→37 万 6500 人

2007 年と 2012 年

●市内の年収 200 万円未満の世帯の割合

25.4%→26.8%

2008 年度と 2013 年度 (普通世帯)

●国保加入世帯の平均年所得 2010 年度と 2015 年度

88 万円→87 万円

●国保世帯のうち年所得 200 万円以下の世帯の占める割合

85%→86%

格差をなくせ
くらし応援へ!

税金があるなら
なぜ福祉削るのか

——福岡・高島市長は「都市の成長と生活の質の向上の好循環が動き始めた」と言っていますが…。

倉元達朗 都合のよい数字を並べているだけです。高島市政のもとで大企業が儲けを1.5倍に伸ばす一方、労働者の所得は逆に減少しています。「成長」したのは大企業だけ、格差と貧困が広がっているのが本市経済の現実です。

——呼び込み路線のもとで人口は増えているようですが。

倉元 「神戸市を抜いた！」と福岡・高島市長は大はしゃぎしています。しかし、無計画な膨張・一極集中によって学校や福祉施設などの整備、市民サービスはまったく追いついていないことが問題になっています。人口が増えればそれだけインフラ整備にも金がかかることを市長はわかっているんでしょうか？

財界の言うがまま
に開発進める市長

——市長のいう「福岡NEXT」「圧倒的福岡時代」というスローガンをどう評価されていますか。

倉元 独りよがり、市民の暮らしにとって関係のないウォーターフロント再整備や「天神ビッグバン」など、財界の言うままに開発路線を進める掛け声に過ぎないと思います。

——くらし、福祉はどうでしょう。

倉元 市民生活には冷酷非情です。福岡市における子どもの貧困率は23・6%、ほぼ4人に1人が貧困状態にある。また、高齢者は年金の連続引き下げに苦しめられ、生活保護費も連続的に引き下げという中で、市長の新年度予算案は、福祉や教育分野を抑制・削減しています。

市長は何かと言えば「持続可能な制度」と言って、市民サービスを削らなければ制度が持続せずに崩壊するかのようになっています。市民生活を維持できなくても構わないという、まさに本末転倒の暴論です。市長は「(福岡市は) 税金の伸び日本一」と自慢するなら、もっと福祉や教育にお金を回すべきです。

ウラ面へ続きます

こんにちは
城南

議会報告 2016年6月

日本共産党

倉元達朗

市議



このピラへのご意見・感想をお寄せ下さい

発行: 日本共産党福岡市議団
☎092-711-4734

@kuratatsu0711

ブログ「転がりつづける日々」
http://jcpf1967.blog.fc2.com

無料 法律・生活
相談会

と
き
6月3日(金)
7月1日(金)
午後7~8時
と
ころ
六ヶ町会館 別府 5-4-8

と
き
6月15日(水)
7月20日(水)
午後7~8時半
と
ころ
倉元達朗事務所
※移転しました長尾 1-16-19
☎865-0688

生活保護、相続、訴訟、離婚、借金、架空請求、成年後見、行政相談などお気軽にどうぞ。



質問する倉元市議
(3月18日)

英語教育の ゆがみただせ

福岡市教育委員会は「英語の使える中学生日本一」をかけた、小学校1～4年生への英語教育（活動）の前倒し、すべて英語で授業をおこなう「オール・イングリッシュ」授業の中学校への拡大などをすすめています。

倉元達朗市議は、条例予算特別委員会の総会質疑でとりあげ、小学1～4年生への前倒しが小学生の知的発達に負の影響を及ぼすという専門家の見解を紹介。さらに、「オール・イングリッシュ」授業でますます英語嫌いがふえる懸念についていただきました。また、これらが財界や市長の意向にそったものであり、教育をゆがめるプランをやめるよう要求しました。

オモテ面の続き

——高島市長は「成長の果実を子どもと高齢者へ」とか言っていますね。
倉元 偽りの看板です。実際には市民犠牲・切り捨て路線を進めるやり方は、市政史上最悪だと思います。この路線を進めば、財界は天国、庶民は地獄、そして借金日本一の福岡市になるのではないかと心配です。
——共産党はどんな市政の転換を展望

していますか。
倉元 いま、高島市長がしなければならぬのは、アベノミクスや消費税増税など国の誤った経済政策への追従姿勢を改め、市民生活を守る防波堤の役割を果たすことです。とくに、深刻になっている貧困対策を抜本的に強化、地元中小業者を応援すると同時に家計を直接あたためて地域でお金が回る循環型の経済対策に取り組むことです。

子ども医療費

通院への自己負担導入やめよ 中3まで入通院とも完全無料こそ

子ども医療費助成については、運動と世論に押されて、条例改正案が出されました。

しかし、市長の提案が通院費助成に「自己負担」（医療機関ごとに3歳～就学前は毎月600円、小学生は1200円）導入という改悪を含み、対象拡大も小6までにとどめたものだったため、日本共産党は自己負担導入の中止、中学3年まで完全無料化のための修正案を他会派に呼びかけて3会派共同で提案しました（条例予算特別委員会）。

この修正案に市民から歓迎の声が寄せられましたが、自民、公明、みらい、市民クラ

他会派とも共同し 修正案を提案

許せない！
自民・公明などが
反対し否決

ブなどはまともな意見も述べずに反対し、否決してしまいました。6万超の署名にこたえてがんばったのはどの党かが浮き彫りになりました。



修正案を提案する倉元市議
(3月24日)

10月から通院こうなる

- 助成対象が「就学前まで」から「小学生」に広がります
- 3歳未満はこれまで通り無料



- 3歳以上就学前までは月600円の自己負担（通院）
- 小学生は月1200円の自己負担（通院）

※1医療機関あたり。同じ月に歯医者に1回行けば600円、小児科に1回行けば600円、外科に行けば600円…計1800円かかります。